

トーカイ&エムネットグループ

『MD-3730Nbp』／『MD-2900bp』

永続的に続く考え方「SDGs」を追い風に

パーラーチェアは環境性能で未来をいく

ファンが喜びことは永続的にパーラーがあり続けることではないか。永続する企業として、少し肩の力を抜いて考えてみませんか。持続可能な社会を目指す、SDGs（エスディージーズ）の思想をあなたに。

今 回のコロナ危機を教訓に私たちは改めてパーラーの在り方をゼロから見直す機会となったのではないだろうか。パーラーに限らず世界中のパブリックスペースの在り方から人の立ち振る舞いまで、あらゆるものが慎重に見直されてきている。

トーカイ&エムネットグループで本気のパーラーには、本気のパーラーチェアを選ぶ責任がある。

は今こそSDGsに本気で取り組むことの重要性を強く訴えかけている。SDGsの取組みは安易に社会貢献のようにつまみ食いしがちだが本質は異なる。単なる社会貢献なら業績の余裕がある大企業や政府がやればよいしそもそも必要か？ という声もある。しかし2015年の国連サミットで、全

会一致で採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す全世界の取組みだ。簡単に言うと人類存続に関わるような重大で緊急な課題を2030年を目処にみんなの力でなんとかしようじゃないかという取組みだ。

連日のコロナ報道に押され、SDGsそのものが陳腐化したかのように見えるが、アフターコロナの世界ではSDGsの考え方がより明確な未来を創生していく道標になるといわれている。

物が有り余る時代、消費者は本質的に価値ある物を見極めながら慎重に消費行動をするようになるだろう。例えば低価格だけを追求した物や地球環境に負担をかける物に価値を見出せなくなってくる。未来のリスクの重大さを知ってしまったからだ。自分だけは特別だという考えも成り立たなくなってくる。

トーカイ&エムネットグループでは採用するだけで地球の「気候変動」にCO₂削減などで貢献する商品を推奨している。「つくる責任 つかう責任」を念頭に置いて、バイオ資源の持続的な



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

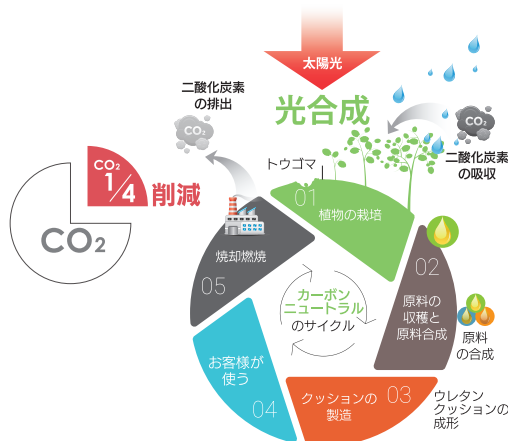


SDGsの取組みは、2、7、9、11、12、13、14、17の取組みをしています。



パーラーチェア生産工場

広大な敷地内には大規模なソーラー発電システムがある。クリーンで持続可能なエネルギーはこの町みんなの電力を支えながら工場は稼働している。パーラーチェアMDは、国内で丁寧に造られているのが特徴で、お客様企業のご要望やカスタマイズを希望するお客様にも対応できる体制を整えている。ここでは、強い環境意識で未来に価値あるパーラーチェアを企画・製造・出荷している。



栽培と管理。そして少ない資源を効率的に使い「持続可能な生産から消費」のサイクルを理想的な形で構築したパーラーチェアを提供している。

【A】